

発行所

社団法人大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2003年11月号

ほくし

七月二十四日(木曜日)
北区歯科医師会事務所にお
きまして、今年度第一回目
の医療保険ゼミナールを開
催いたしました。今回のテ
ーマは「最近の医療保険請
求における注意事項」とい
いました。いつものよう



第1回

医療保険
ゼミナールH15
7.24

に社保の審査委員でありま
す、黒川会長、奥野常務、
国保の審査委員の橋本収
副会長にお願いして医療保
険請求での間違いやすいと
ころや、最近の解釈の仕方
について解説していただき
ました。



九月二十五日、午後7時
より新阪急ビル12階スカイ
ルームに於て、支払基金專
任審査委員の森村正良先生
をお招きして、医療保険、
医療管理合同講演会が開催
されました。
参加人数は101名でした。
最近増加している保険者

医療保険、医療管理
合同講演会H15
9.25

天神祭りの宵宮というこ
とで参加者は23名ではあり
ましたが、いつものように
いろんな会員の方から忌憚
のない質問、返戻に対する
疑問等が出され、ほんとう
に参加していただいた方々
にはお役に立てたものではな
いかと自負しています。
今回の医療保険ゼミナ
ール来年の二月頃に予定いた
しておりますので新入会員
の方をはじめ、まだ参加さ



れたことのない会員の方も
ぜひ一度のぞいて下さい。
(医療保険部)



再診について、審査のしく
みから、細かく説明してい
ただき4種類ある返戻付せ
んの違いや貴重な資料を見
ながら、注意すべき点など
を解説していただきました。
大変有意義な講演会にな
りました。(医療管理部)

パノラマ

●第四十三回衆
院選が行われた。
マニフェスト(政
権公約)を掲げ、
政策論争を通じ、
国民に公約実現
の行役表まで示す、

単なる選挙公約ではない約
束である。政権交代まで視
野に入れた民主党であつた
が、与党に絶対安定多数を
獲られた。しかし、比例代
表では、第一党に。投票者
の意識には何らかの変化が
あつたようである。

●自民党の比例代表選候補
者選出が話題になった。候
補者の定年制問題である。
大勲位まで受章された元首
相も、過去の経緯や合意を
一切排除し、トップダウン
で基準通りの決定で、辞退
との意志表明があつた。は
しごをはずされたの感であ
る。

●来年から、フランスとド
イツでは、歯科分野で補綴
が保険から除外されること
が決定し実施されると聞
く。日本においても、民
間保険の動きも伝わってき
ている。

●混迷する政局、今後トッ
プダウンによる影響はいか
がが、医療界のみならず、
日本全体が方向を誤ること
なく正しい道を歩むことを
切に望むものである。(M)



府歯ソフトボール大会

H15
9.23

例年8月に催されていた府歯ソフトボール大会が、本年は秋晴れの9月23日大阪歯科大学牧野グラウンドで開催されました。

14時30分西成支部との試合開始。時折吹く強風を見方につかず、また再々鋭い当たりが相手野手の正面をつくなど、谷口・高麗の必勝リレーも武運拙く28対1で敗れました。来年こそはこの雪辱戦を誓う面々でありました。
(福祉一)



新入会員

吉本 仁

(大歯大・平成10年卒)



(診) 造幣局診療所

北区天満一―七九
電 六三五一―五三六六
F 六三五一―五八九六

ソフトボール対抗戦「宿敵打破」

H15
6.22

島において両チームの親睦会が行われました。
(ソフトボール同好会)



(自) 寝屋川市香里北町五
一三一―三〇四号
電 〇七―八三―五三九九

生活習慣改善 指導教室

H15
9.30

予定30名に対して集まりが悪く、9名の参加。「自分の歯を残して健康に」をテーマに歯周病、歯と身体のかかりなどについて講義した。少人数だったが質問も多数あり、活気のある講演会だったと思います。
(地域医療)

編集後記

体調不良の為、「ほくし」の発行が少し遅れました。記事の順番が前後しています。御迷惑をかけています。

3・4・5班 合同班会

H15
7.31

平成十五年七月三十一日木曜日午後七時より、「うおまん」で、三・四・五班合同班会が開催されました。当日十八名が参加され、和気合々のうちに終宴した。

論説

歯科医事処理室

副会長 大西 馨

日々、歯科医療に携わる我々は、神仙ならぬ身であれば、常に患者さんとのトラブルと隣り合わせに居るものと覚悟しなくてはならない。医療事故に伴う場合もあれば、全く医療事故とは関係のないことでクレームが発生し医事紛争に進展してしまふ場合もある。

大阪府歯科医師会

会では、平成12年に歯科医事処理室の機構改革を行なった。府下の各支部毎に1名の室員を任命し、2名が1組となり役員1人と3名で月、水、金曜日の午後2時から5時まで順番に出務

し、患者さんから、あるいは歯科医師からの各種の医事相談に対応することになった。やむなく案件となった場合には室長、4名の副室長、20数名の常任委員の

間ずつ週3回の出務する年間延べ約1300時間になる。平成14年度で案件となった件数が約2000件で、常任委員の先生から聞くところによると、1件の

会員の先生方には、日頃、リスクマネージメントには十分対策を構じていただいているであろうが、更に、心、技、体の充実に心がけていただきたい。これは私

先生方が分担し、顧問弁護士、保険会社の担当者と共に、訴訟となる前段階で解決するべく体制が整備された。

数字遊びを許していただくと、3人の人間が各3時間

解決につき平均10時間は費やすとのことなので、延べ2000時間となる。合計で3300時間となると、1年の間、1日9時間休日無しに室員の誰かが動いていることになる。

自身に対する自戒でもある。万が一、トラブルに出会ってしまっても、誰にでもあることなのだと、自分に言い聞かせ、パニックに陥ることなく誠意を持って対応し、以後の対応については遠慮することなく歯科医事処理室を利用されることをお勧めする。

六月二十二日、午後七時より、宿敵北区大淀支部との試合が柴島ソフトボール球場で、行われました。涼しく、しのぎやすい絶好のナイター日和で、参加人数も17名(内応援四名と多く、中村監督、選手交代で頭を悩まし嬉しい悲鳴をあげていました。試合は1点先行された一回裏に大量11点を得点した北区北チームが常に押し気味に試合を進め、随所に好プレーも見られ、15対8で勝ちました。MVPには、走者一掃の2塁打を含め、2安打の大塚先生が選ばれ、試合後「室